

水道施設の耐震性能、耐震性の向上に関する取り組みについてお知らせします。

◆ 安全で安心な水を安定して供給するために、水道施設の整備を進めています。

町水道事業では、平成14年度より地震災害時でのリスクの分散と応急給水拠点を備えた水道施設の充実強化を図るため、相川右岸地域を対象に新たな水源地や配水池の建設などの整備を進めてきました。

一方、相川左岸地域では、昭和34年度より稼働している第1水源地施設の老朽化による更新とあわせて、被災時など不測の事態に右岸地域との相互融通が可能となるよう配水池を新設し、安全で安心な水を安定して供給するため、平成24年度より施設整備を進めています。

また、基幹的な水道管路についても管と管を接続する継手部分に伸縮性と離脱防止機能を有し、地震による地盤変動に対応することができる耐震管を採用し、耐震性の向上に取り組んでいます。

◆ 水道施設の耐震化の状況

令和元年度末における各施設別の耐震化率は、次のとおりです。

施設名	総浄水施設能力 (m ³ /日)	耐震化済施設能力 (m ³ /日)	耐震化率 (%)	参考値	
				全国	岐阜県
浄水施設	17,400	17,400	100.0%	32.6%	61.2%

施設名	総配水池容量 (m ³)	耐震化済容量 (m ³)	耐震化率 (%)	参考値	
				全国	岐阜県
配水池	10,310	8,640	83.8%	58.6%	63.4%

施設名	基幹管路延長 (m)	耐震適合性のある 管延長 (m)	耐震適合率 (%)	参考値	
				全国	岐阜県
基幹管路	16,657	11,973	71.9%	40.9%	39.1%

※基幹管路とは、水道施設にとって重要な管路であり、導水管・送水管・配水本管(垂井町ではφ300mm以上の給水分岐のない重要な配水管)のことを言います。

詳しくは「厚生労働省:水道施設の耐震化の推進」をご覧ください。

[\(http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/taishin/\)](http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/taishin/)

<問い合わせ先> 上下水道課 上水道係 (0584)22-7518